

「平成 29 年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告」  
における平成 29 年度の取組等に対する意見書

水戸市中心市街地活性化協議会（以下、本協議会）では、「平成 29 年度 認定中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告」における平成 29 年度の取組等に対して意見の集約を図った結果、下記のような内容になりましたので、ご回答申し上げます。

「水戸市中心市街地活性化基本計画（認定計画）」は、水戸市と本協議会で十分議論を重ね、中心市街地のあるべき方向性と将来図を示すべく策定されており、今後も基本計画をもとに、総合的で強力な取り組みが望まれる。

本協議会では、提案した事業について、平成 28 年度に作成した優先順位と工程表をもとに、実践的な協議を重ねており、文化コンテンツ強化プロジェクトによる中心市街地の賑わい創出事業や内閣府企業主導型保育事業を活用した保育所の整備など、実現に向けて具体化している事業もあるので、今後もさまざまな支援をお願いしたい。

平成 28 年 11 月に設立されたまちづくり会社「㈱まちみとラボ」では、起業家支援事業「水戸まちなかビジネスプランコンテスト」や「まちなかりノベーション事業」、まちなかマルシェ「ガングット」の開催、ウェブマガジン・フリーペーパー「TRIX MAG.」によるプロモーション事業などを行っており、今年 9 月には、創業支援を目的としたインキュベーション施設を立ち上げる予定で、さまざまな角度から中心市街地の振興に寄与しており、今後もより一層のバックアップをお願いしたい。

昨年の 9 月に官民連携で整備された「まちなか・スポーツ・にぎわい広場（通称：M-SPO）」は、新たな交流を創出する拠点として期待されているので、さらに活用されるよう支援をお願いしたい。

活性化の目標として掲げている歩行者通行量、居住人口、空き店舗率の 3 指標については、昨年度と比べて概ね横ばいかやや改善しているが、目標値とは開きがあるため、より積極的で迅速な取り組みが望まれる。

「歩行者通行量」については、水戸芸術館とともに芸術・文化活動を発信する拠点となり、新たな交流や活力、にぎわいの創出が期待される新市民会館の早期整備を引き続きお願いするとともに、周辺では現在再開発を検討しているエリアもあるので、再開発事業の推進に向けて支援をお願いしたい。

また、弘道館・水戸城跡周辺地区における歴史的景観づくりが進められているが、その地区に繋がる「水戸駅北口地区のまちづくりの推進（旧リヴィン跡地）」については、歴史ある水戸の玄関口にふさわしい和風の景観になるよう、水戸市三の丸地区市街地再開発組合に引き続き働きかけをお願いしたい。水戸駅北口ペDESTリアンデッキに建設予定の「お休み処」についても、水戸の歴史が感じられる和風の景観になるように、官民協働で取り組んでいただきたい。

「居住人口」については、引き続き「子育て世帯まちなか住替え支援事業」や「住宅リフォーム助成事業」、「まちなか共同住宅整備促進事業」の周知に努めていただくとともに、子どもから高齢者までの多世代の人が安心安全で便利に暮らせるよう生活環境の充実を図っていただき、まちなか居住の促進をお願いしたい。

「空き店舗率」については、それぞれの施策について、昨年度以上の実績があがるよう更なる周知に努めていただくとともに、利用者にとって、一層魅力があり、利用しやすい補助制度の拡充をお願いしたい。

中心市街地活性化を図るためには、市の事業と民間の事業をうまく連携させて、相乗効果を図り、より一体的な取り組みが重要になる。

本協議会は、多くの民間事業者、商店街および地域団体などが所属しており、多様な事業を行う際に、実施主体の総合調整や活性化方策を企画するなど、水戸市と協働して取り組み、中心市街地活性化に向けて最大限の努力をしていく。